

Excel 関数の使い方

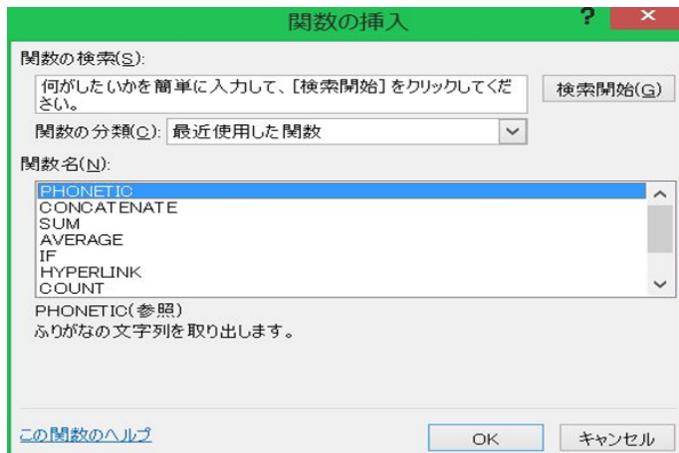
2022年4月23日 河出 修

1. Microsoft Excel 関数の種類

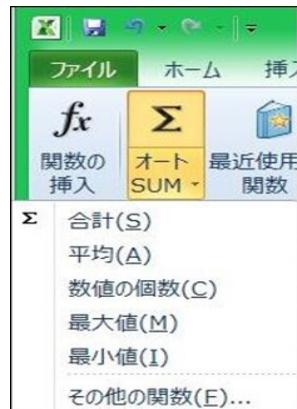
★数値計算、文字列計算、検索／行列の関数、日付／時刻の関数等 多くの関数が用意されている。

2. 関数の呼び出し方

★「数式」タブを開き、「関数の挿入」ボタンを押す。



★「オートSUM」ボタンを押す。



●「オートSUM」の内容はステータスバーに表示される。(カーソルで指定した範囲)

3. 関数のほかに次のような演算子も用意されている。

算術演算子	意味	例
+	足し算	A1+B1
-	引き算	A1-B1
*	掛け算	A1*B1
/	割り算	A1/B1
^	べき乗	A1^2
%	パーセント	20%

比較演算子	意味	例
=	等号	A1=B1
>	より大	A1>B1
<	より小	A1<B1
>=	以上	A1>=B1
<=	以下	A1<=B1
⟨⟩	不等号	A1⟨⟩B1
&	文字連結	A1&B1

4. 年齢の計算例 (DATEDIF 関数)

氏名	生年月日	基準日	年齢
Aさん	1941/7/20	2022/4/1	80
Bさん	1960/7/1	2022/4/1	61
Cさん	1970/5/5	2022/4/1	51
Dさん	1999/2/10	2022/4/1	23
Eさん	1985/8/10	2022/4/1	36

- 年齢計算には、「DATEDIF関数」を使う。
「DATEDIF(デイトディフ)関数」は次のように入力する。
=DATEDIF(生年月日,基準日,"y")
- 左の表では「基準日」欄を一括変更することができる。
「基準日」のAさん～Eさんを指定する。
「検索と選択」→「置換」→「検索する文字列」の入力
→「置換後の文字列」の入力→「すべて置換」をクリック。

5. 生年(西暦)の干支の計算例 (MOD、MID 関数)

氏名	生年月日	西暦年	余り	干支
Aさん	1941/7/20	1941	9	巳
Bさん	1960/7/1	1960	4	子
Cさん	1970/5/5	1970	2	戌
Dさん	1999/2/10	1999	7	卯
Eさん	1985/8/10	1985	5	丑

- 余りの計算には、「MOD関数」を使う。
「干支」は12年周期なので西暦年を12で割る。
=MOD(西暦年,12)
- 干支の計算には、「MID関数」を使う。
「干支」は「余り+1」が“申～未”の何番目かで求める。
=MID("申酉戌亥子丑寅卯辰巳午未",E50+1,1)

6. 全角・半角文字をどちらかに統一

住所	住所(修正)
白金50-12	白金50-12
大井41-12	大井41-12
渋谷10-10	渋谷10-10
銀座125	銀座125

- 全角に統一。 =JIS(B58)
- 半角に統一。 =ASC(B59)

7. 英単語の先頭を大文字、残りを小文字に

講座名	講座名(修正)
EXCEL入門	Excel入門
security基本	SECURITY基本
WINDOWS7操作	windows7操作
●先頭を大文字に。 =PROPER(H58)	
●全て大文字に。 =UPPER(H59)	
●全て小文字に。 =LOWER(H60)	

8. 「行/列の入れ替え」

項目	パン	ドーナツ	クッキー	ケーキ	パイ
金額	50	100	40	50	20

●「項目」「金額」の「表」をコピーする。

項目	金額
パン	50
ドーナツ	100
クッキー	40
ケーキ	50
パイ	20

●「貼り付けのオプション」から「行/列の入れ替え」を選択すると左表のように行と列が入れ替わる。



9. 別表から品名や単価を転記する例 (VLOOKUP 関数)

★商品注文表

品番	品名	単価	数量	金額
11	ダスター	200		
21	フォルダー	80		
31	A4用紙	200		
41	シール紙	100		

★商品マスター

品番	品名	単価
11	ダスター	200
21	フォルダー	80
31	A4用紙	200
41	シール紙	100

●「品番」をキーにして、商品マスターから「品名」を転記する。

商品注文表の「品名」欄に、=VLOOKUP(品番,商品マスターの範囲,列番号, FALSE) を設定。

=VLOOKUP(B54,\$H\$54:\$J\$57,2, FALSE) → C54の内容 (品名の下)

●「品番」をキーにして、商品マスターから「単価」を転記する。

商品注文表の「単価」欄に、=VLOOKUP(品番,商品マスターの範囲,列番号, FALSE) を設定。

=VLOOKUP(B54,\$H\$54:\$J\$57,3, FALSE) → D54の内容 (単価の下)

●マスターの範囲は絶対参照、列番号=転記する列番号、FALSE=完全一致。

10. 四則演算と関数の使用例

★販売高集計表

氏名	4月	5月	6月	合計	スパークライン	順位
Aさん	45	95	40	180		6
Bさん	80	75	80	235		1
Cさん	85	65	70	220		2
Dさん	60	70	80	210		4
Eさん	65	45	95	205		5
Fさん	75	75	65	215		3
平均	68	71	72	211		
				最高		
				最低		

●計算式

「合計」 = 「4月」+「5月」+「6月」

「平均」 = 「月」別の平均

「最高」 = 「合計」の最大値

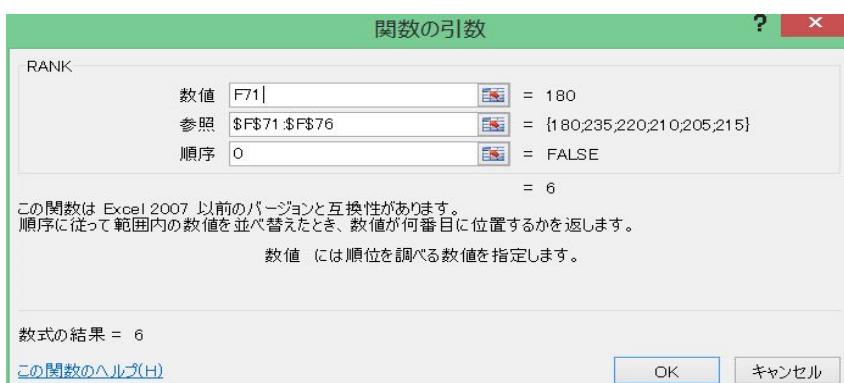
「最低」 = 「合計」の最小値

●条件付き書式

50未満は赤色表示

●スパークライン

月別販売高を折れ線グラフ表示



順位:「合計」を「RANK」関数で

判定する。

Aさんの「RANK」関数

1. 数値

・Aさんの「合計」(F71)

2. 参照

・AさんからFさんの「合計」
(F71:F76)→「F4」キーを押し

絶対参照に変更する。

(\$F\$71:\$F\$76)

3. 順序

0(降順)

★Windows11のカスタマイズの紹介

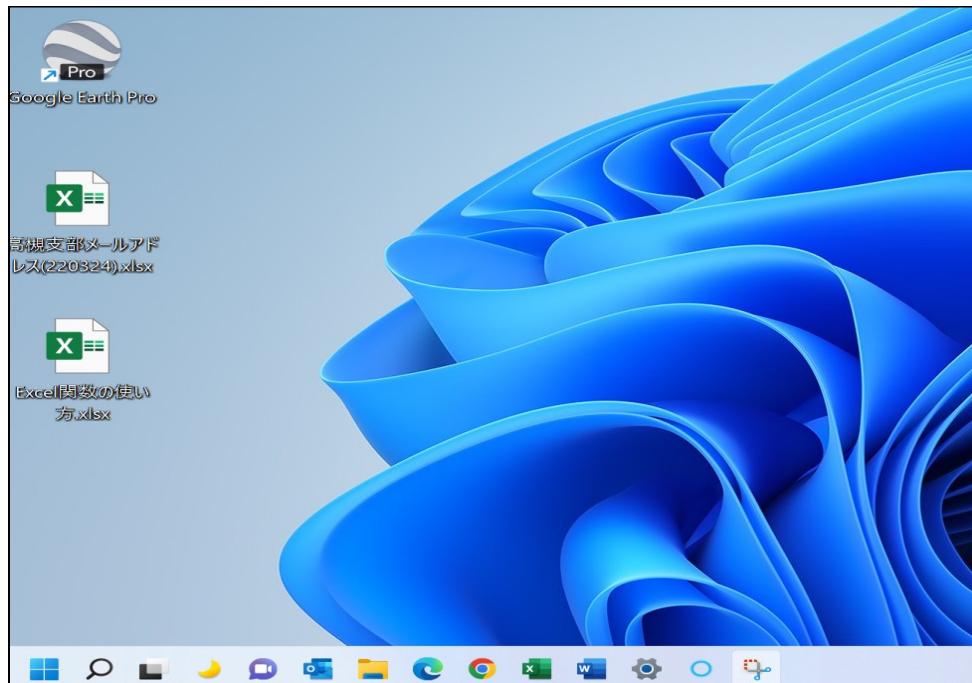
1. スタートメニューにフォルダーやWebページを追加

●設定方法はまず「設定」から「個人用設定」→「スタート」→「フォルダー」を表示し、追加したいフォルダー項目をオンにすればOKです。



2. スタートボタンの位置を中央から左下に変更

●設定方法はまず「設定」→「個人用設定」→「タスクバー」→「タスクバーの動作」を選択し、「タスクバーの配置」を「中央揃え」から「左揃え」に変更すれば、スタートボタンが画面左下に表示される。



3. クイック設定を編集する

4. コルタナをタスクバーに追加

5. エクスプローラーの行間を狭める

等のカスタマイズが可能であり、Windows 10の操作に近づけることができます。